

再エネ&脱炭素のキーポイント講座

太陽光発電量予測と廃棄物発電の導入ポイント

オンラインセミナー(Zoom)

～ 再エネ&脱炭素の推進にあたって知っておくべき技術と将来性 ～

開催日:2022年2月10日(木)

10:00～12:00

温室効果ガス削減のためには、再生可能エネルギー(再エネ)の発電量を増大させていくことが必須となっています。企業においても再エネ電力の比率を高めることは経営上の大きな課題となっています。

再エネ電力には、太陽光発電の他、風力発電、水素・アンモニア発電、水力発電などいくつかの種類があります。また、再エネ電力には、自社発電、自己託送、PPAなどの仕組みの選択肢もあります。

日本では太陽光発電が再エネの主力電源になると見られていますが、この電源は「お天気次第」という特性があります。そのため、太陽光発電量を予測することは経済性の面で重要となり、太陽光発電量予測の技術が注目されています。

なお、太陽光発電と風力発電はお天気次第のため、安定的に電力を確保するには蓄電池に加え、水素発電など能動的な発電装置が必要になります。その発電装置のひとつに「廃棄物発電」があります。

本セミナーでは、精度の高い予測技術を開発されているスカパーJSAT社(電力中央研究所との共同開発)、及び廃棄物から水素を取り出し発電させる新しい廃棄物発電装置を販売するトッパン・フォームズ社より、技術等を紹介いただきながら商品・サービスの有効性と導入のポイントについて解説いただくものです。

本セミナーの特徴

- ◆再エネ電力&脱炭素を推進する事業者様、需要家企業の双方にとって有益な内容となっています。
- ◆太陽光発電量予測の精度の重要性と予測技術導入のポイントについて説明いたします。
- ◆技術のブレークスルーを経て開発された廃棄物発電の有効性と脱炭素の推進における活用方法について説明いたします。

主催 株式会社リーディング・イノベーション

共催 スカパーJSAT株式会社

【はじめに】再エネ電力市場の構造について (10:00~10:10)

株式会社リーディング・イノベーション 代表取締役 芦澤 誉三

- ・再エネ電力市場の構造を分かりやすく整理する
- ・再エネ比率を向上させるための手段と特徴
- ・再エネ電源の特性と導入するにあたっての注意点

【1】AIを活用した太陽光発電量予測の導入のポイント (10:10~11:05) 質疑10分間

スカパーJSAT株式会社 宇宙事業部門 新領域事業本部
新事業推進部 プロジェクトリーダー 小淵 浩希氏

- ・太陽光発電量予測の重要性
- ・“Solar Meilleur(そらみえーる)”の開発(スカパーJSATと電中研の共同開発)の経緯
- ・Solar Meilleur(そらみえーる)”の技術的特徴と精度向上のに向けた取り組み
- ・太陽光発電量予測を選択する際のポイント

質疑

【2】脱炭素推進における廃棄物発電の活用方法について (11:05~12:00) 質疑10分間

トッパン・フォームズ株式会社 研究開発本部
フロンティア本部 執行役員/本部長 鳥越 秀氏

- ・トッパン・フォームズが取り組む廃棄物発電装置の概要(廃棄物を利用して水素を発生させ発電する)
- ・廃棄物発電の問題点と問題をブレークスルーした技術の特徴
- ・脱炭素推進における廃棄物発電の有効な活用方法について

質疑

◆お申し込み方法

下記のいずれかの方法にてお申し込みください。

- ①下記のお申し込みフォーマットに必要事項を記入し、FAXにてお申し込みいただく。
- ②下記お問合せ先にあるメールアドレスより、お申し込みいただく。

◆開催日

2022年2月10日(木) 10:00~12:00

◆開催方法

Zoomによるオンライン開催

◆参加費用

無料

貴社名			
住所	〒		
ご参加者①	部署	役職	
	お名前	TEL.	E-mail
ご参加者②	部署	役職	
	お名前	TEL.	E-mail

お問い合わせ

株式会社リーディング・イノベーション
東京都千代田区丸の内2-2-1 岸本ビル6階
Tel.03-5953-8950 FAX.03-5953-8862
URL:http://www.lead-in.com

担当:高橋

E-mail:takahashi@lead-in.com